

2015年度SIP-adus施策概要

施策名 国際的に開かれた研究開発環境の整備

担当組織 住友電工システムソリューション株式会社

作成者名 菰渕 博

プロジェクトの目標

自動走行システムの国際標準化等において我が国が主導的な立場として活動していくためには、研究の加速化を図ることが急務となっており、自動走行システムに関する基本的な理念の形成や国際標準化を進めるための国際的に開かれた研究開発環境(国際オープン型研究所)が必要である。

今年度の取組内容や結果等の概要

テストコース(自動車安全運転センター安全運転中央研修所)に昨年度に設置した従来版の電波を活用した安全運転支援システム(DSSS)実証実験設備に加えて、運転支援に要求される機能を満たしつつコスト削減に向け検討した普及版の電波を活用した安全運転支援システム(DSSS)実証実験設備を設置した。

今後の主な課題、取り組むべき内容

テストコースに安全運転支援システム利用環境を整備したことにより、
・公道ではできない実証実験
・従来版と普及版の電波を活用した安全運転支援システムの機能比較
について行うことが可能となり研究開発の加速化が図れるようになった。